



【5～11組】一人一つの「バケツ稲栽培」に挑戦！

先週16日（木）に、5～11組の子供たちが、一人一つの「バケツ稲栽培」に挑戦しました。

当日は、おかざき農遊会、市農務課、JA あいち三河の皆様が講師としてご来校され、バケツに入れる土をつくることから始まり、最後に種籾を撒くまで、約2時間に渡って大変丁寧にご指導くださいました。子供たちは、大きなビニール袋を使って土を混ぜる作業に苦労していましたが、高学年の児童が低学年の児童を率先して助ける姿が見られ、とても良い交流と経験をすることができました。

今後は、水の管理や除草に気を配りながら、一人一人が思いを込めて稲を育て、秋にそれぞれのバケツで稲穂が黄金色に輝く日を楽しみに待ちたいと思います。



▲講師の方々に教えていただきながらの土づくり



▲手で土をしっかりと混ぜる児童



▲高学年が低学年を率先して支援



「男川大運動会」にかける学区の方々の熱い思い

先週18日（土）の男川大運動会の「学区の部」は、「小学校の部」と同様に大変盛り上がりました。しかし、ここに至るまでには、スポーツ推進委員会を中心とする学区の方々の熱い思いと献身的な努力があったことを忘れてはなりません。2月の準備委員会、4月の実行委員会、そして、運動会一週間前の運営委員会と、三度に渡って会合が開かれ、運動会を安全で円滑に進め、参加者の親睦が深まるように、綿密な打ち合わせが重ねられました。また、各町内では、選手の選考や練習会の開催など、運動会役員の方々が精力的に動いて、成功への基盤を築いてくださいました。

このように、男川学区の方々の運動会にかける思いは、市内随一だと思えます。今後も男川大運動会のより良い開催に向け、学区の方々の思いが結集することを願っております。



▲夜遅くまで熱心に打ち合わせを行う役員の方々